

◎注意事項をよくお読み下さい

# りそな 経済フラッシュ

## (米国FOMC)

2020/1/30

りそなホールディングス 市場企画部



### ○概況

- ◆ 政策金利の誘導水準は据え置き（全員一致）
  - ◆ 声明文は個人消費の評価を下方修正、政策の目安となるインフレ水準を引き上げ
  - ◆パウエル議長は、新型肺炎は中国の生産動向等への影響を見極めるとした
- ✓ FRBは1/28-29に行われたFOMC（連邦公開市場委員会）にて、**政策金利を据え置きとした（全員一致）**。
- ✓ 声明文では一部文言を修正。個人消費について「強い」から「緩やかな」ペースに増加と下方修正。また政策の目安となるインフレ水準を「2%近くまで」から「2%に戻るまで」と変更。パウエルFRB議長は、変更の背景として、**現状の1%程度半ばの政策金利水準に満足していないことを明確に示すためとした**。
- ✓ 記者会見ではバランスシートの今後について質問が相次いだ。パウエル議長はバランスシートの潤沢の目途となる水準として1.5兆ドルという水準を示し、当面現状の水準を維持する見通しを示した。但し、あくまで昨年起きたような短期金融市場の混乱を回避することが目的であることを強調。**金融市場の一部にあるバランスシートの拡大を通じたリスク資産の押し上げには慎重なスタンスを示したと言える**。
- ✓ **新型肺炎の影響については、記者会見で、中国の生産動向等、慎重に影響を見極めるとした**。
- ✓ 昨日の金融市場はFOMCの結果公表後、株が売られ、金利が低下する展開となった。一部にあったバランスシート拡大期待が後退したことや目安となるインフレ水準のコメントを強化したことが影響した可能性。但し、**これまでFRBのスタンスと整合的な内容であり、金融市場への影響は限定的であろう**。

### 【FOMC参加者の見通し（12月時点）】

	FRB見通し（中央値）				
	2019	2020	2021	2022	長期
実質GDP	<b>2.2</b>	<b>2.0</b>	<b>1.9</b>	<b>1.8</b>	<b>1.9</b>
9月時点	2.2	2.0	1.9	1.8	1.9
失業率	<b>3.6↓</b>	<b>3.5↓</b>	<b>3.6↓</b>	<b>3.7↓</b>	<b>4.1↓</b>
9月時点	3.7	3.7	3.8	3.9	4.2
PCEインフレ率	<b>1.5</b>	<b>1.9</b>	<b>2.0</b>	<b>2.0</b>	<b>2.0</b>
9月時点	1.5	1.9	2.0	2.0	2.0

### 【FFレート見通し内訳—FOMC参加者の人数】

	今後の利上げ回数	2020		2021		2022		Longer run	
		9月	12月	9月	12月	9月	12月	9月	12月
3.375	7回							1	1
3.250								1	1
3.125	6回							3	2
3.000						2	2		
2.875	5回								
2.750									
2.625	4回			1		2	2	8	8
2.500								1	1
2.375	3回	1		5	3	5	4	1	2
2.250									
2.125	2回	6		4	5	4	3	1	1
2.000									
1.875	1回	2	4	3	4	3	5		
1.750									
1.625	現在	8	13	4	5	1	1		
1.500									
1.375	▲1回								
1.250									
平均値		1.875	1.684	2.066	1.963	2.272	2.228	2.570	2.539
中央値		1.875	1.625	2.125	1.875	2.375	2.125	2.500	2.500

今回FOMCで提示された中央値の利上げベース 中央値 【出所】FRB